

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽたより
日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控入室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽたよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp

議員報酬月2万円増 など 賛成多数
議員団「増やすな！」修正案提出・否決
議員定数2名減 提案 否決！！
議員団「民意けずるな！」質疑・討論

こどもが主体的に選択できる「地域クラブ」を

「聴こえ 8030 運動」進め難聴への啓発・支援を

12月議会、人事院勧告を受けて「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定」が提案されました。

職員と共に市議会議員の一時金支給の期末手当を0.05増、議員の報酬を月2万円増、議会選出監査の報酬を月1900円増が提案。

審議会「他市に比べて高い」と指摘

11月10日、特別職報酬等審議会※から市長宛に「特別職報酬等の額の改定について」が答申(3.5%増・議員57万円を59万円になど)が行われました。しかし、議員団は、審議会の中において、「川西市の議員報酬は他市に比べて高い」という指摘が圧倒的に多く、長引く物価高騰に収入が追いつかず苦しむ市民の理解を得られないと判断し、市議会基本条例第26条「※答申及びその他の事情を考慮し、定めるものとする」の「その他の事情を考慮すべき」と判断し、議員についての増額を任期中すべて行わないという修正案を提出(共産党3、市民ファースト2、維新4)しました。

残念ながら、「答申が出た」と他会派(無所属含)は修正案否決、原案可決となりましたが、市長を含む特別職(監査は除く)は、任期中の値上げ(3.5%増)はしないと決めています。

民意を切る「議員定数2名減」提案

なんと報酬等を増額した後、まほろば会派から、議員定数2名減の議員提案が行われ、12月19日最終本会議で議論が行われました。

私(黒田)は、議員報酬が他市に比べて高いと指摘されている事実などを確認、質疑を行いました。憲法遵守、住民が主人公の立場で、多様な意見を網羅し、議員の役割を徹底することこそ大切。高いと指摘されている報酬だけ増やして、民意を切り捨てる定数減は反対と討論しました。(まほろば5、維新4、無所属1)の賛成だけで否決になりました。

お米だけでなく
他商品も購入できる店
舗情報も届きます。
(使用期限は9月末)

市広報紙
ホームページ
ご覧ください



12月議会、私(黒田)は、①部活動の地域クラブへの移行と居場所について、②「聴こえ 8030 運動」を進めることについて一般質問、提案・討論を行いました。(議会ホームページで映像配信・会議録を閲覧いただけます)

今回、議員報酬増額等議案が提出、議員団は、増額しない旨の修正案を呼びかけ、3会派で提出をしましたが、反対多数で否決。最終日には、議員定数2人減らす議員提案が行われ、否決されたものの、大波乱の12月議会となりました。(順次、「報告させていただきます」)

3月末で部活動廃止急ぐな
川西市は、現在実施されている中学校・部活動を今年度末で廃止、地域クラブへ移行する計画ですが、この間お伝えしているように、国も様々な課題が山積していることから「中間見直し」を行っており、私(黒田)は、課題解決を行うことが最優先で、廃止を急ぐべきではないと求め続けています。

市のスケジュールによると、廃止まで数カ月と迫った今、社会移行・地域クラブの目的であるこどもが主体的に選択できる地域クラブや指導者・活動場所等の確保ができていないのか、地域への情報提供や協力依頼、校区外へ出かける

また、地域クラブ移行への課題と

課外活動の安全確保など現状を確認、課題解決を急ぐことを求め、廃止は急ぐなと伝えました。

社会移行「地域クラブ」の話がでるまで中学生の8割が参加していた部活動ですが、今年度6月部活動参加者は、3630人の生徒の6割(2190人)となっています。

地域クラブの登録数は、11月28日現在、市内11、猪名川町6、計117クラブとなっていますが、種別を含め校区によって違いがあります。

担当理事は「不足数を想定していない」と答弁しますが、現在938人の生徒しか地域クラブで活動していません。3月末にスムーズに移行できるのか疑問や不安が残ります。

市内で地域クラブがあれば、通

解決について質問しましたが、十分な答弁はありませんでした。改めて、「地域クラブ活動推進協議会」で出された意見も伝え、教育委員会の担当だけでは難しいので、他市でも取り組まれているように、オール川西として、情報提供・集約・連携・調整できるようになる組織を立ち上げること。部活動廃止を目的とするのではなく、こども達が地域の一員として活動できるよう、地域住民・組織や学校、企業や店舗、市内に通って来られる方をも巻き込んだ活性化のまちづくりを目的として取り組むよう求めています。

特に、今まで活動してきた生徒の来年度の大会や発表会等への参加、そこで役割を果たしていただいている教職員の役割・処遇など課題解決が急がれます。

今回の増額 (半年分影響額528万9千円)

議長	701000円→726000円
副議長	629000円→651000円
議員	570000円→590000円

全国と兵庫県(29市)の状況

全国815市	人口10万～20万人未満の市平均	兵庫県29市
平均23人	25.4人	—
議員報酬 42万6千円	46万8000円	46万8239円

国の総合経済対策(川西市編) 総額 約17億円
生活者支援～お米券(ひとり4840円分、3月以降順次郵送、対象者基準日 R8年1月1日)
 水道基本料免除(770円/月・4か月分、R8年6月検針分から、3080円※口径20mm)

事業者支援～現行の原油等高騰対策中小企業支援金制度(上限20万円から40万円に、R8年2月受付開始 対象者基準日 R7年9月1日)

物価高対応子育て応援手当
0歳から高校3年生(ひとり2万円、H19年4月2日～R8年3月31日までに出生したこども)

